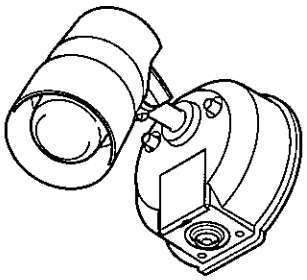
Panasonic®

施工説明書

住宅用照明器具(FreePaスポットライト)



品番　LWC84018B (オフブラック)　LWC84018S (シルバーグレーメタリック)
LWC84018W (ホワイト)　LWC84018Y (プラチナメタリック)

お客様へ　器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店、工事店に依頼してください。

工事店様へ　施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

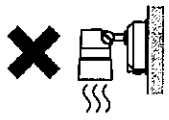
■取付面

●次のような場所には取り付けない

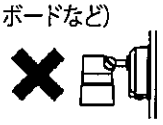
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

禁止

浴室などの湿気の多い場所

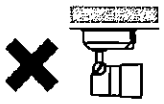


補強のない場所(ベニヤ板や石こうボードなど)

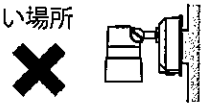


据置取付

天井面



取付面がパッキンより小さい場所

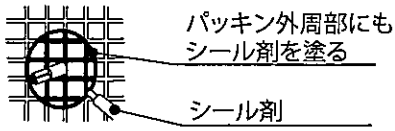


◎この器具は防雨型、壁面取付専用器具です。

●取付面と取付板パッキンのスキマおよび取付板パッキン外周部にシール剤を塗る

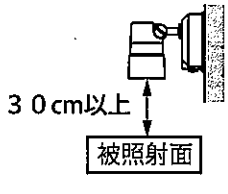
取付面と取付板パッキンのスキマを防水シール剤などで埋めてください。
防水が不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

必ず守る



●器具と被照射面とは３０cm以上離す

指定距離より近いと、被照射物の変色、火災のおそれがあります。

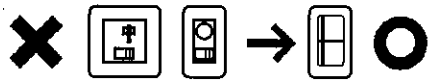


■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。

必ず守る



◎調光器の取り外しが必要です。

■その他

●器具の取り付けは施工説明書に従い確実に行う

取り付けに不備があると火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●交流１００ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

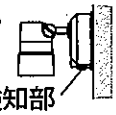
●電源線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む

必ず守る

差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

●検知部が下になるように取り付ける

浸水による感電のおそれがあります。



●カバーは確実に取り付ける

取り付けが不完全な場合、浸水による火災、感電の原因となります。

●接地工事は、電気設備の技術基準に従って確実に行う

アース線接続

接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。

⚠ 注意

禁止

●温度の高くなるものの上に取り付けない

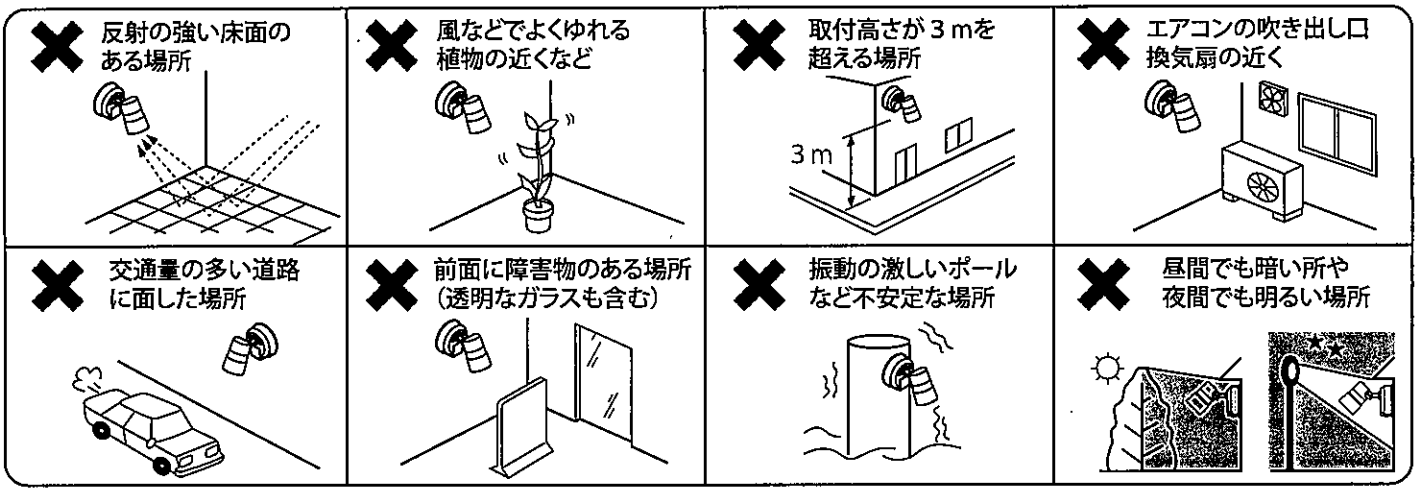
火災の原因となることがあります。

◎ガス機器やその排気筒の上に取り付けないでください。

施工前のご確認事項

取付場所についてのご注意

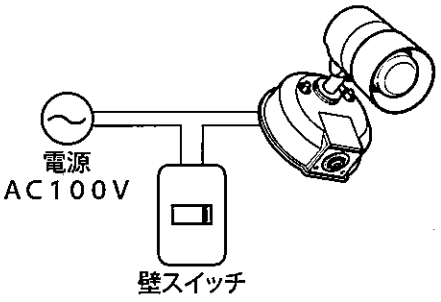
●次のような場所には取り付けないでください。
この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。



●一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。

配線についてのご注意

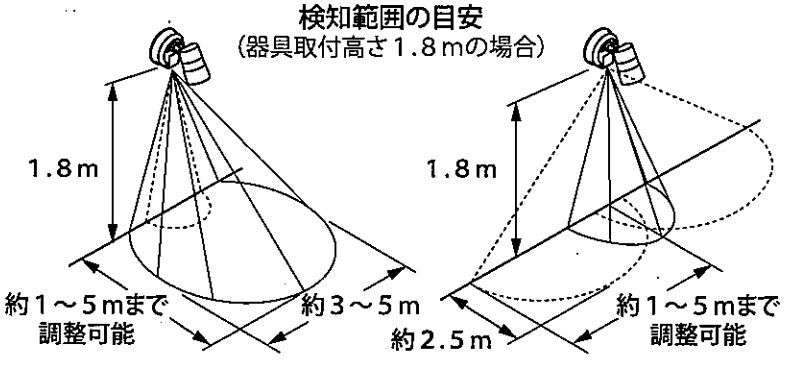
●必ず壁スイッチを設けてご使用ください。（スイッチは別途ご用意ください）
・連続点灯への切り替え操作ができません。
・センサによる点灯モードに異常が発生したとき、リセットできません。
●壁スイッチは器具１台につき１個設置してください。複数台を１個のスイッチに配線すると、点灯状態にバラツキが発生するおそれがあります。
●壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがＯＮの状態でも照明器具が消灯状態（センサ待機状態）のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。（故障ではありません）
●通常は壁スイッチをＯＮにした状態でご使用ください。



センサの検知範囲

●センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。（センサの検知部は全方向に約２０度動きます）
●器具の取付高さ１.８m（標準）～３mの間では、検知範囲は変わりません。

検知範囲の目安
（器具取付高さ１.８mの場合）



ご注意

●この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物、自動車など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。また、静止状態の人などは検知しない場合があります。
●検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取付高さや傾きなどにより変化します。
●夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
●センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがありますが、器具の故障ではありません。

調節ツマミの設定について

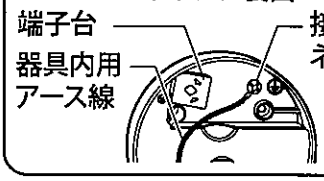
この器具は取り付け後、ご使用の環境に合わせてセンサの検知範囲、調整ツマミの設定が必要です。
必ず、4ページ「検知範囲と調整ツマミを設定する」をお読みのうえ、設定してください。

各部のなまえ

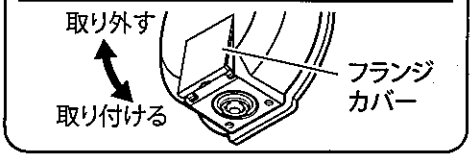
取付前のご準備

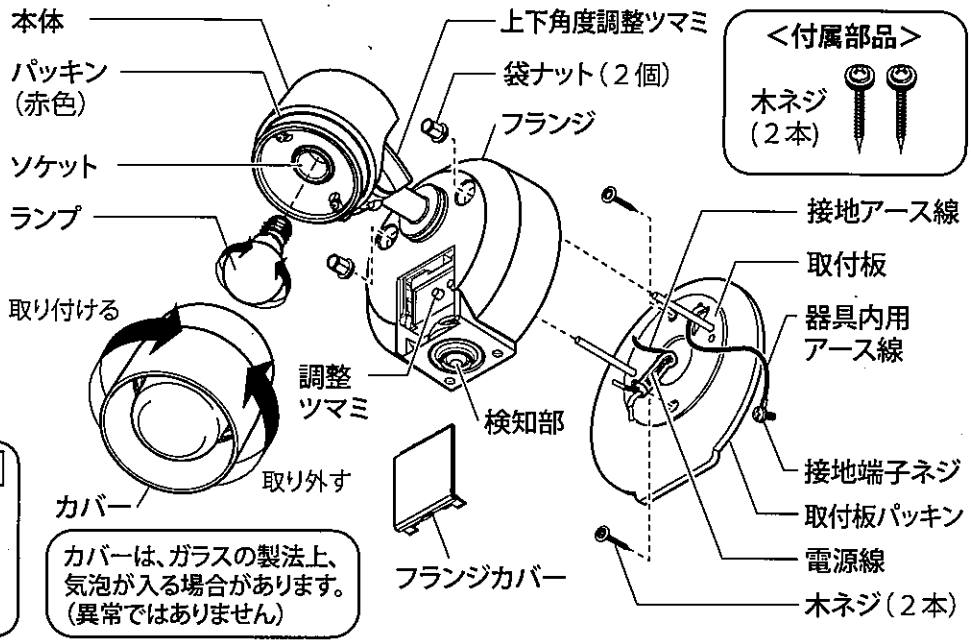
①袋ナット（2個）を取り外す。
②フランジと取付板を分離する。
③接地端子ネジを取り外す。
④カバーを取り外す。

<フランジ裏面>



フランジカバーの取り付け・取り外しかた





カバーは、ガラスの製法上、気泡が入る場合があります。（異常ではありません）

照明器具を取り付ける

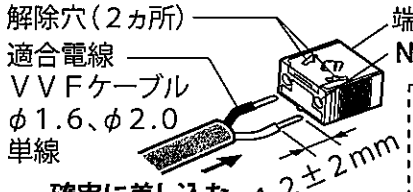
安全のため、電源を切ってから行ってください

1 付属の木ネジ（2本）で取付板を取り付ける

取付ピッチ　66.7mm

2 端子台に電源線を接続する

①電源線を端子台に差し込む



電源線の外しかた
マイナスドライバー等で解除穴を押しながら電源線を引き抜く

②接地端子ネジからD種(第3種)接地工事を行う
器具内用アース線と共に接地アース線をフランジ裏面の接地端子ネジに取り付ける。

3 袋ナット（2個）でフランジを取り付ける

器具を手で押さえ、左右交互に袋ナットを締め付ける。

4 ソケットにランプを取り付ける

5 本体にカバーを取り付ける

パッキン（赤色）が見えなくなり、カバーと本体のスキマがなくなるまで右に回す。

⚠ 警告

カバーは確実に取り付ける
必ず守る
取り付けが不完全な場合、浸水による火災、感電の原因となります。

6 検知範囲と調整ツマミを設定する

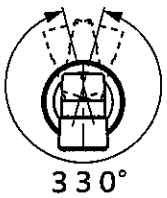
☞ 4ページ参照

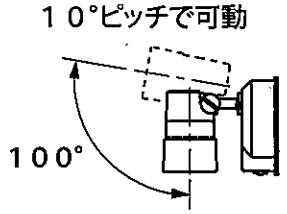
●調整ツマミの設定はフランジカバーを取り外して行ってください。

注意 フランジカバーは必ず取り付けて使用してください。外したまま使用すると水が浸入し感電、故障の原因となります。

7 照射方向を調整する

調整可能範囲





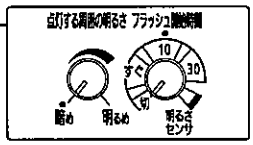
●上下照射角度の調整
①上下角度調整ツマミを緩める。
②上下照射角度を調整する。
③上下角度調整ツマミを締め付ける。

検知範囲と調整ツマミを設定する　昼間でも設定できます

設定の前に
①壁スイッチをＯＦＦにする
②フランジカバーを取り外す　☞ ３ページ「各部のなまえ」参照

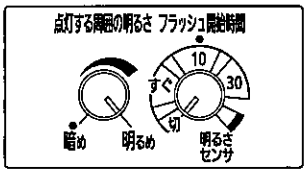
1 センサの検知範囲を調整し、点灯確認をする

出荷時の設定 ——



［手順］

①あらかじめ、調整ツマミを以下の設定にする



点灯する周囲の明るさ——「明るめ」（右いっぱいに回す）
フラッシュ開始時間　——「切」（左いっぱいに回す）

②検知部を動かし、設置場所に合わせて検知範囲を調整する

- ●検知部は、全方向に約２０度動きます。
- ●センサの検知範囲は、☞ ２ページ「センサの検知範囲」を参照ください。

③壁スイッチをＯＮにし、センサの検知範囲の外に出る

➡ 約４０秒間点灯してから消灯します。

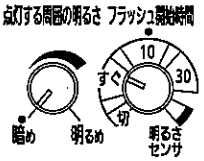
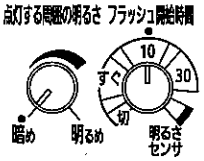
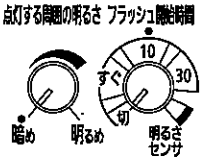
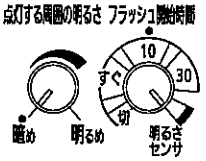
消灯しない場合は、以下の原因が考えられます。
- ●センサの検知範囲に入っている　⇒　センサの検知範囲から外に出る
- ●連続点灯になっている（検知部が赤く光ったまま）　⇒　壁スイッチを一度ＯＦＦにし、５秒以上おいて再び壁スイッチをＯＮにする

④消灯したら器具に近づいて、点灯することを確認する

- ●センサの検知範囲の外に出てから約５秒後に消灯します。

2 いったん壁スイッチをＯＦＦにして使いかたに合わせて調整ツマミを設定する

以下の４種類の使い方ができます。（詳しくは　☞ 取扱説明書３ページ）

使いかた	防犯すぐモード	防犯設定時間後モード	ON/OFFモード	明るさセンサモード
動　作	人が近づくとすぐにフラッシングします	人が近づいてから１０秒後または３０秒後にフラッシングします	暗くなって、人が近づいたときに点灯	暗くなったら点灯 明るくなったら消灯
おすすめのツマミ設定				
詳しい設定方法	☞取扱説明書４ページ	☞取扱説明書４ページ	☞取扱説明書５ページ	☞取扱説明書６ページ

3 フランジカバーを取り付ける

☞ ３ページ「各部のなまえ」参照

4 壁スイッチをＯＮにする

➡ スイッチＯＮにした直後は周囲の明るさに関係なく、約４０秒間点灯します。

パナソニック株式会社　インテリア照明ビジネスユニット
〒571－8686 大阪府門真市門真1048
© Panasonic Corporation 2012
LWC84018B-S3A4
N0408-040112